

市民協働かわら版

No.32

発行：泉南市総合政策部政策推進課
〒五九〇〇五九二 泉南市樽井一丁目
TEL：〇七二一四八二〇〇〇四
(平成二十九年二月二日発行)

一月二十四日(火)に平成二十八年度第十回「泉南・市民まちづくりサロン」が泉南市埋蔵文化財センター2階会議室で開催され、十名(市民八名、職員二名)の参加でサロンが始まりました。【共催：泉南市ABC委員会】

当日のテーマと主な意見は次のとおりです。

①まちづくりについて

一月二十二日(日)に人口が約1万人の長野県の小布施町に観光客を100万人呼び込むという町おこしを行なった方の講演があった。そのときに思ったのは、「まちづくり」というフレーズ。このフレーズは、市民に敬遠されている

*「新春第九コンサート」を開催しました。



主催：泉南市ABC委員会

一月十五日(日)午後二時から、文化ホールにおいて「新春第九コンサート」が開催されました。

昨年と同様にミニオーケストラによる世界の名曲の演奏があり、第二部ではこの日のために結成し、練習

を重ねた泉南第九合唱団による「第九」の第四楽章の合唱がありました。観客席も満員になり、入場者の方々は、鮮やかなピアノ等の楽器の演奏や、ダイナミックで透き通るような素晴らしい歌声に魅了され、終演後も会場内の拍手は止まりませんでした。また、当日は小さな子どもたちにも気軽に触れあえるように「リハーサル見学会」を開催し、開場前には泉南市女声合唱団有志による「ウエルカムロビーコンサート」もありました。

泉南市ABC委員会では、今後も引き続き親子で楽しめるイベントを行っていきます。

ように思う。このサロンも「まちづくり」というフレーズがあるが、3年目を迎えそろそろ「泉南・市民まちづくりサロン」のネーミングを変えてみてはどうかと思う。

②泉南市について

泉南市は小さな公園はあるが子供が遊べる大きな公園が少ないように思う。

いろいろなところを歩いているが、市内には多くの緑が残っている。市内一円を大きくとらえ、公園、居住地域などと棲み分けしてはどうか。よい町になると思う。

③高齢化社会について

高齢化が進み、七五歳になって運転免許証を返還している人が多くなってきている。生活範囲は縮小するのはもともとだが、地域活動で言えば、青色防犯パトロール車が運転出来ない。青パトは犯罪の抑止力にも貢献しており地域の防犯活動の大事なツール。七五歳以下の人は年金の問題もあるが、定年を迎えても再就職しており、地域にいないことが多い。ボランティアでは六十〜六五歳ぐらいの方が一番活躍してくれるが、その年代が地域にいないことは深刻。

また、恒例となった参加者の方が自主的にまとめた資料について、説明を受け意見交換や情報共有ができました。

次回は、二月二十八日(火)午前十時から泉南市埋蔵文化財センターで開催する予定です。

多くの市民の皆さまの積極的なご参加をお待ちしています。



泉南市マスコットキャラクター
HANALISA
「泉南熊寺郎」"せんくま"